

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和31年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	07 公園緑地
事務事業名		01 公園整備事業	問合先
			担当課(室) 都市整備課
			職・氏名 都市建築係長 大森賢二
			電話 0869-64-1834

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	公園利用者
目的(何のために)	公園整備を行うことによって、公園利用者の利便性の向上を図るため
行政活動(どのような方法で)	公園施設の整備
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安全で安心して利用でき、かつ、楽しむことができる公園

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	公園施設整備	箇所	4	1	1
実績	直接事業費	千円	10,106	1,494	436
	必要人員	人	0.20人	2,503	0.11人
	人件費	千円	12,609	2,487	694
	事業費計				1,130
実績	国・県支出金	千円			
	受益者負担				
	線入金				
	市債				
実績	その他( )				
	一般財源		12,609	2,487	1,130
	受益者負担比率	%			
	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	公園整備箇所数	説明 公園整備箇所数			
	結果指標量	箇所	4	1	1
	対前年比	%	—	25.0%	100.0%
	活動コスト	円	1,269,000	2,487,000	1,130,000
結果指標②	単位当たりコスト	円	317,250	2,487,000	1,130,000
	結果指標量	—			
	対前年比	%			
	活動コスト	円			
単位当たりコスト	円				

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
公園整備箇所数	目標値(A)	1	1	1	1
	実績値(B)	1	1	1	到達目標年度
	達成率(B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
公園整備工事数					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識 公園を利用する市民は、子供連れの家族、近所の住民、桜の季節のみという偏りがある。市民全員が利用してみたいという魅力ある公園を目指す
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識 公園整備にあたっては、費用対効果を十分検討し、コスト削減を図っていく。
	手段	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識 公園利用者の安全性と利便性の向上を図ることができる
	市民参画度		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	結果指標量②	成果指標量				
			拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況				○			休止・完了
説明	公園1箇所の園路柵改修を実施している						

総合評価	
開園以来、老朽化している遊具には、特に注意が必要であり、また、公園施設内にも老朽化している施設がかなりあるため、年次的に整備を行っていく必要がある	評価区分<A~E> <b>B</b> 

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	老朽化した公園施設の改修を実施する					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	効率性	費用対効果	毎年度	安全性と利便性の向上		